

CONTEMPORARY DANCE



JOSEF NADJ

# WY ZECK



黄昏  
どきの  
夢が

アイホールダンスコレクション10周年企画 / アイホールダンスコレクション Vol.18

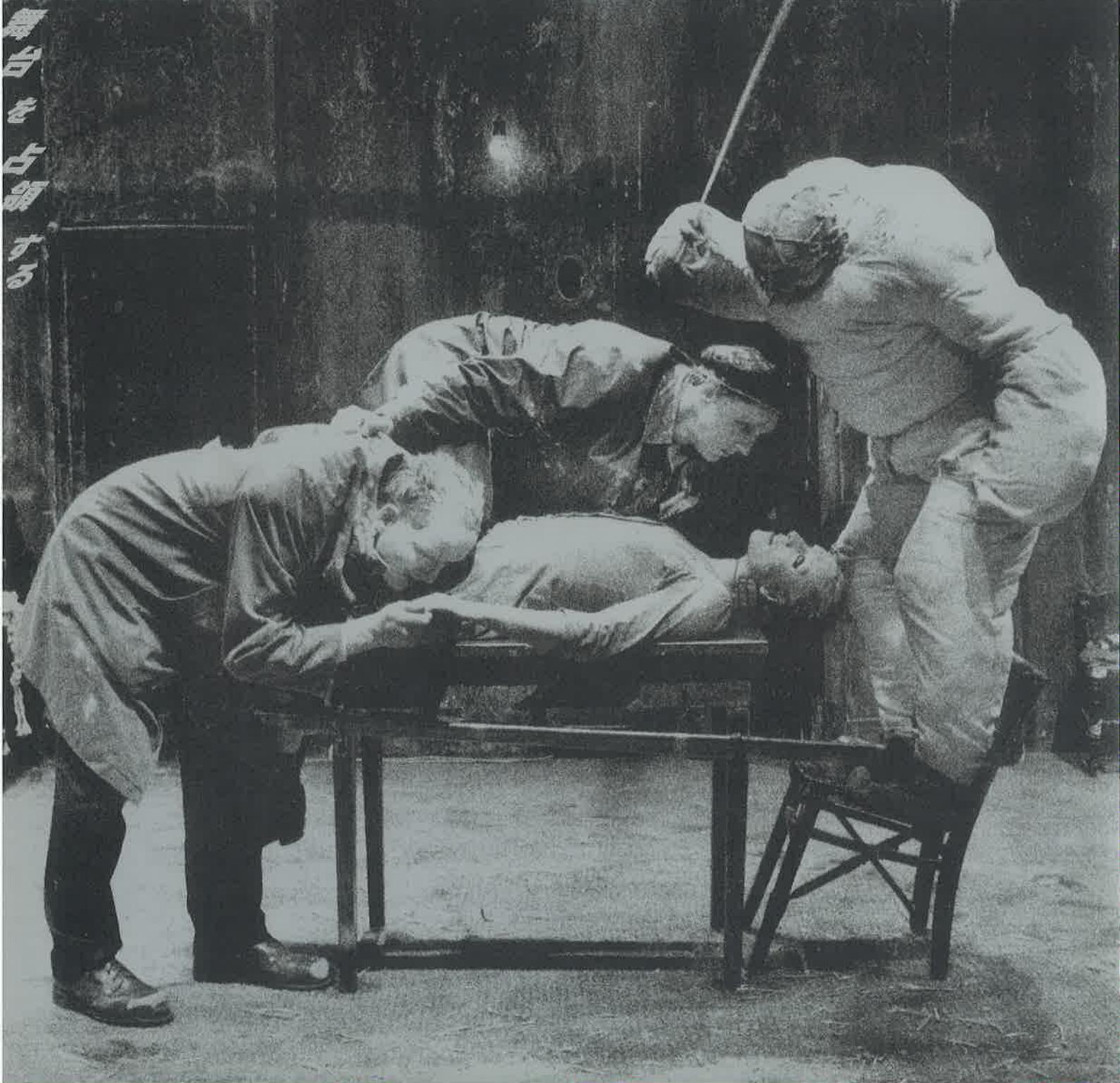
作——— **ジョセフ・ナジ**

日程——— **2000年2月16日(水) + 17日(木)**

会場——— **アイホール AI-HALL**

〒664-0846  
兵庫県伊丹市伊丹 2-4-1  
JRB宝塚線伊丹駅前 0727-82-2000

舞台を  
占領する



ダンスという枠を軽々と突き抜けて疾走する奇才ジョセフ・ナジ来日



ヴォイツェック

その特異かつ鮮烈な舞台で、ヨーロッパで高い評価を得ている振付家・ダンサーのジョセフ・ナジが代表作『ヴォイツェック』をもって来日します。

1980年代後半、ナジがパリの劇場に登場した時には、その舞台が既成のダンスの概念を大きく打ち破るものであったために、フランスのコンテンポラリー・ダンスの世界に大きな衝撃を与えました。今回の『ヴォイツェック』は、そのナジ独自のスタイルを究極まで押し進めた作品です。

この舞台のもとになったのは、ヨーロッパで非常に有名な戯曲の『ヴォイツェック』(作=G・ビュヒナー/1813-37)。貧しい兵士ヴォイツェックが幻覚に悩まされ、内縁の妻をナイフで惨殺するにいたるといふ、実際の事件に基づいて書かれたこの戯曲に触発されたナジは、それをまったくセリフのないパフォーマンスに作り変えました。

死とエロス、ユーモアとグロテスク。人間とモノとが交錯して、幅8m×奥行5mの極小の舞台には、ファンタジーと悪夢が入り混じったナジ独自の幻想の宇宙が現出します。

→アヴィニオン演劇祭で公演したときの批評

●ジョセフ・ナジは(原作の『ヴォイツェック』を)黄昏時の物語として読むことを提案する。それは言葉なき演劇である。

ゆがんで腐った世界、息詰まる機械仕掛けの世界という彼のビジョンが、それぞれのイメージの中で爆発している。

フィガロ紙/1997年7月

●ナジの仕事はまさに時計職人の仕事なのだ。

ここでは全てが型で押されたように整然としていて、構図の崩壊さえもが制御されている。

……ナジは振付家なのだろうか、それとも演出家なのだろうか?

いや、彼は来るべき形式の創造者なのだ。

ル・カナル・アンジエ紙/1997年7月

アイホールダンスコレクション10周年企画  
アイホールダンスコレクションVol.18

ヴォイツェック

作・振付 = ジョセフ・ナジ  
 パフォーマー = イストヴァン・ビケイ/デネス・デブレイ/ペーター・ゲンザ  
 フランク・ミケレッチイ/ジョセフ・ナジ  
 ジョゼフ・サルヴァリ/アンリエッタ・ヴァルガ

製作 = 国立ブルターニュ・レンス劇場/フランス国立オルレアン振付センター

日程 = 2000年2月16日(水)+17日(木)  
 開演=午後7:30時/開場=午後7:00時 \*上演時間60分

会場 = **AI-HALL** (JR宝塚線 伊丹駅前)  
 〒664-0846 兵庫県伊丹市伊丹2-4-1  
 TEL.0727-82-2000/FAX.0727-82-8880

入場料金 = 前売4500円/当日5000円  
 学生3000円(アイホール電話予約のみ取扱。当日、学生証をご提示下さい)  
 ※学生券でのご入場は一般券の方の後となります。あらかじめご了承下さい。  
 ※日時指定/整理番号付自由席

前売開始 = 1999年12月5日(日)

前売予約 = チケットぴあ 06-6363-9999  
 ローソンチケット 06-6369-6633  
 アイホール 0727-82-2000

お問い合わせ = アイホール 0727-82-2000

主催 = 伊丹市/(財)伊丹市文化振興財団

企画制作 = ヴィレッチ  
 制作協力 = Groovism Company  
 ARTS STAFF NETWORK

後援 = 関西日仏学館

助成 = 日本芸術文化振興基金/フランス芸術活動協会(AFAA)



ジョセフ・ナジ  
Josef Nadj

旧ユーゴスラビア生まれ。82年にパリに出てマイムや演劇を学んだあと、本格的にコンテンポラリー・ダンスの世界に入る。87年、デビュー作『カナル・ベキノワ』はダンスのメッカ、パリ市立劇場にも取り上げられ、翌年はアヴィニオン演劇祭へと招待される。95年、フランス国立オルレアン振付センターのディレクターに就任。

